



2020年度 第2四半期決算説明資料

トピー工業株式会社

証券コード 7231

1. 新型コロナウイルス感染症拡大への対応
2. 2020年度（2021年3月期）第2四半期決算
3. 2020年度（2021年3月期）通期業績予想
4. トピックス – ESGの取り組み –

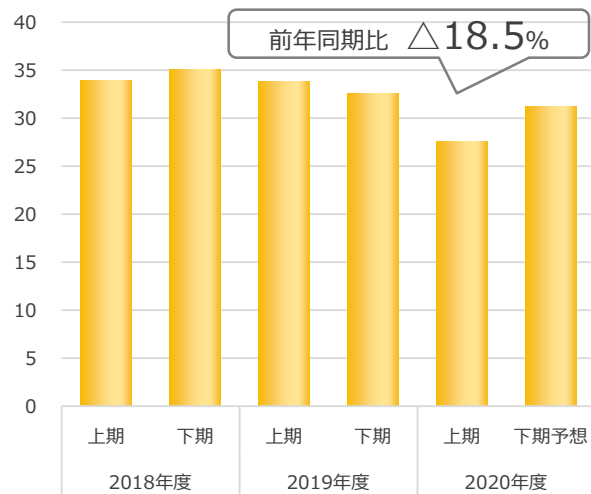
参考資料

1. 新型コロナウイルス感染症拡大への対応
 - 感染防止と緊急収益改善。
2. 2020年度（2021年3月期）第2四半期決算
 - 緊急収益改善策を実行するもコロナ禍により前年同期比減収減益。
 - 自動車・産業機械部品事業の大幅な需要減少の影響甚大。
 - 鉄鋼事業の販価軟調の影響を受けメタルスプレッドが悪化。
 - 中間配当は見送り。
3. 2020年度（2021年3月期）通期業績予想
 - 当初予想（2020年8月4日公表）から増益。
 - 販売数量は当初想定どおり徐々に回復。
 - コスト削減の効果発現。
 - 1株当たり期末配当金は20円を予想。
4. トピックス – ESGの取り組み –

需要分野別動向

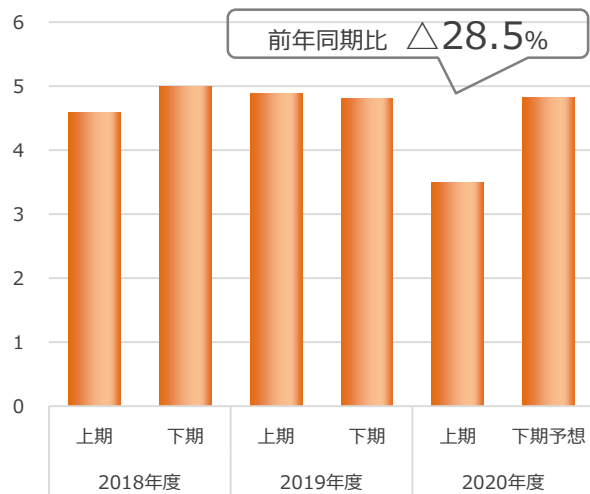
普通鋼鋼材需要

(単位：百万 t)



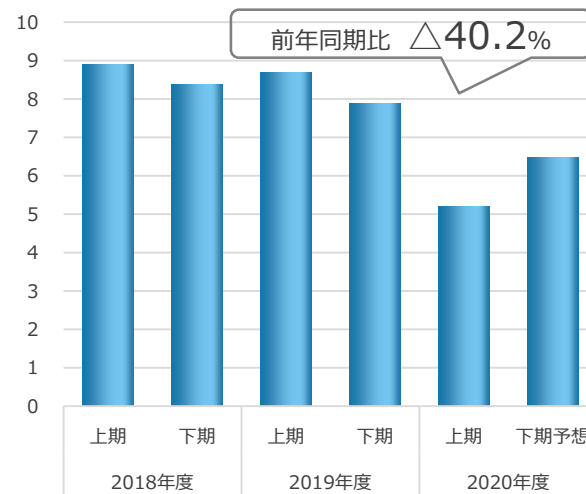
国内乗用車生産

(単位：百万台)



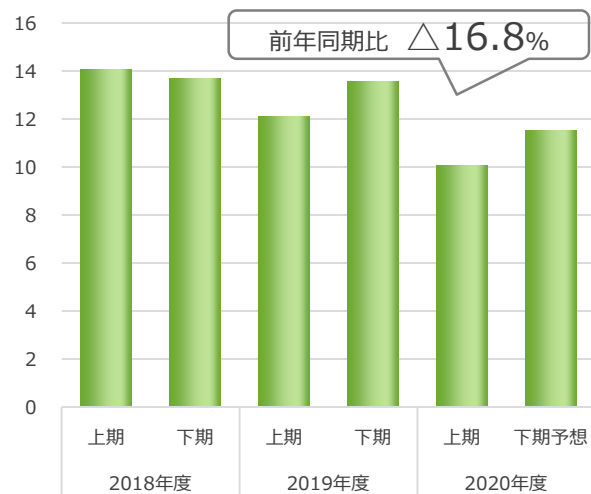
北米自動車生産

(単位：百万台)



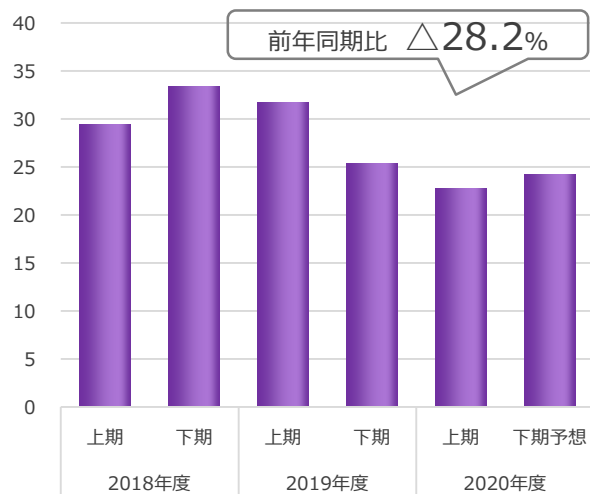
中国自動車生産

(単位：百万台)



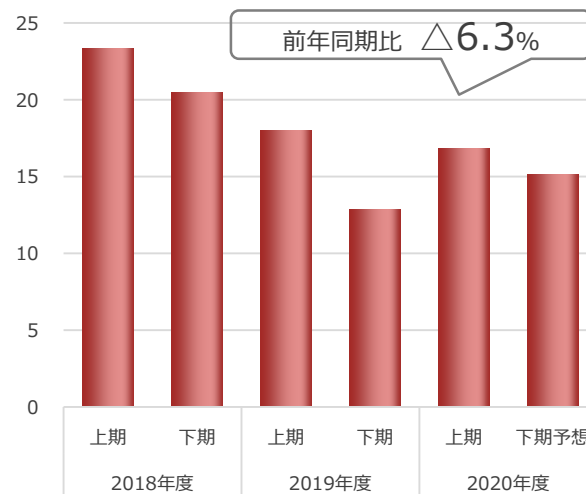
国内ショベル生産

(単位：台)



中国ショベル生産（日系）

(単位：台)



(出所) 各種業界統計、当社推計



新型コロナウイルス感染症拡大への対応

■感染防止と当社グループの状況

各国政府の方針を受け、お客様、お取引先様、地域社会の皆様、従業員とその家族の安全と健康を最優先に対応。

本社等	テレワークおよび時差出勤を実施、Web会議等を活用
国内生産拠点	感染防止策を徹底のうえ、必需品供給の観点から全拠点操業継続
海外生産拠点	7月からは全拠点が通常稼働

■緊急収益改善策

新型コロナウイルス感染拡大による収益への影響を最小限に抑えるため、統制可能な固定費を中心に削減。

• 緊急収益改善策による効果

2020年度上期実績
(前年同期比)

- 大幅な需要減少に即応した生産稼働体制の見直し
- 収益基盤を強化するための固定費の削減
- さらに国内外のグループ最適生産体制について検討中
- 役員報酬および管理職給与の減額

固定費削減

45億円

- 雇用調整助成金の申請と休業の実施

営業外収益

4億円



2020年度（2021年3月期） 第2四半期決算

2020年度第2四半期決算（前年同期比）



コロナ禍の影響により、全事業で需要が大幅に減少。特に自動車・産業機械部品事業が大きく影響を受け減収減益。

（単位：億円）

	2019年度上期実績	2020年度上期実績	前年同期比	
			増 減	増減率
売 上 高	1,372	974	△398	△29.0%
営 業 利 益 （営業利益率）	23 (1.7%)	△ 42 (△ 4.3%)	△65 (△6.0%)	－ (－)
経 常 利 益	16	△ 39	△55	－
親会社株主に帰属 する四半期純利益	9	△ 42	△51	－
1 株 当 た り 配 当 （ 円 ）	40	0	△40	－

2020年度上期 経営環境（前年同期比）

■外部環境

○－×：環境・影響の評価

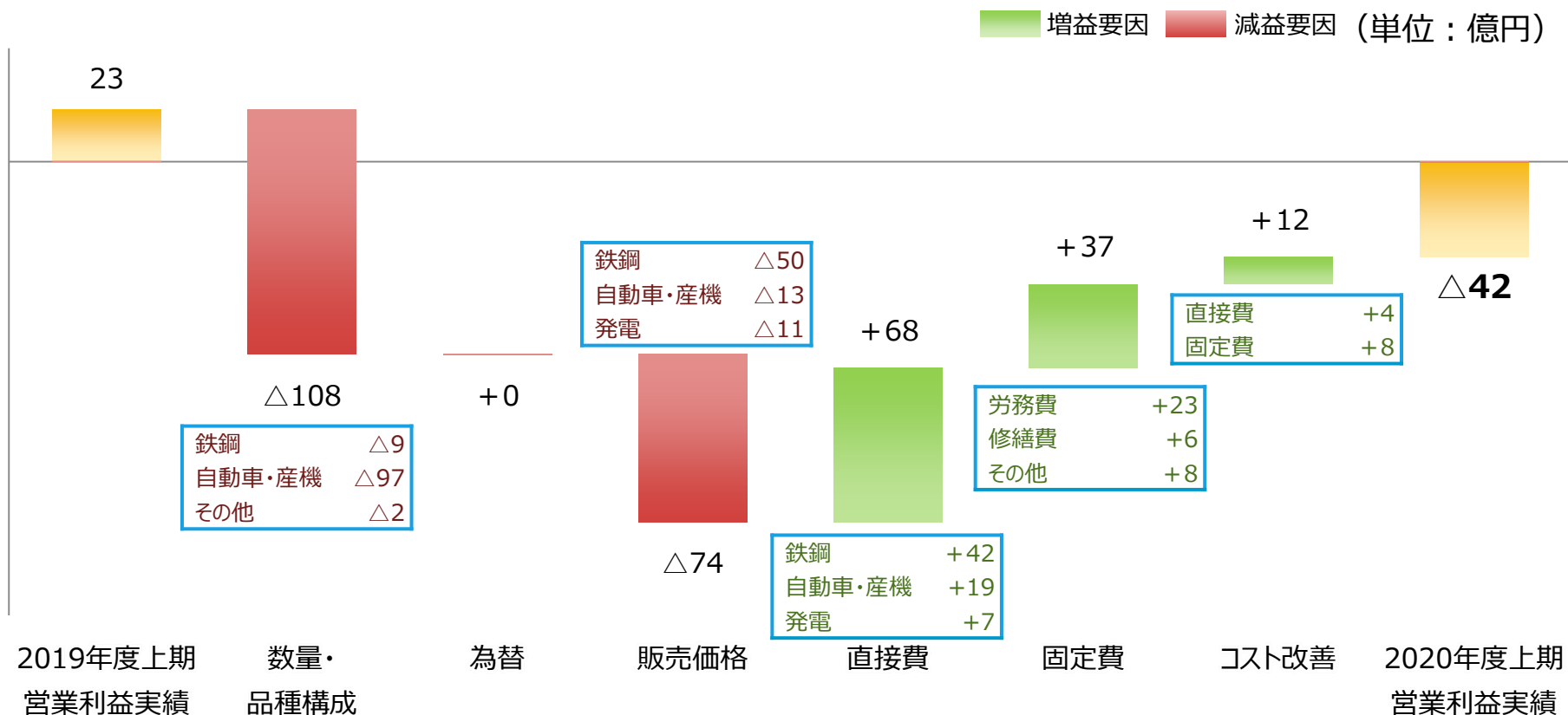
海外経済	×	米国	4-6月はコロナ禍の影響が甚大であったが7-9月は大幅に回復
	－	中国	コロナ禍からいち早く回復を見せ始める
	×	東南アジア	インドネシア等で景気低迷が継続
日本経済	×	国内外の需要が大幅に減少	

■当社グループ

鉄鋼事業	×	製造業向け需要が大幅に落ち込む	
	×	鋼材市況の回復遅れの中、海外の影響を受け鉄スクラップ価格が足下で上昇	
	○	エネルギー・副資材コストは低下	
自動車・産業機械部品事業	×	自動車用ホイール	世界的に自動車需要が減少
	×	履板・履帯	日系メーカーの油圧ショベル需要は中国を除き大幅に減少
	×	鉱山機械用ホイール	鉱山機械需要が大幅に減少
発電事業	－	販売価格が低下	

営業利益増減要因（前年同期比）

固定費を45億円圧縮したものの、自動車・産業機械部品事業の数量が減少したほか、鉄鋼事業の販売価格の低迷も響き65億円の大減損。



期間為替	2019年度 上期実績	2020年度 上期実績
米ドル	108.7円	106.3円
中国元	15.6円	15.2円

2020年度上期 セグメント別業績 (前年同期比)



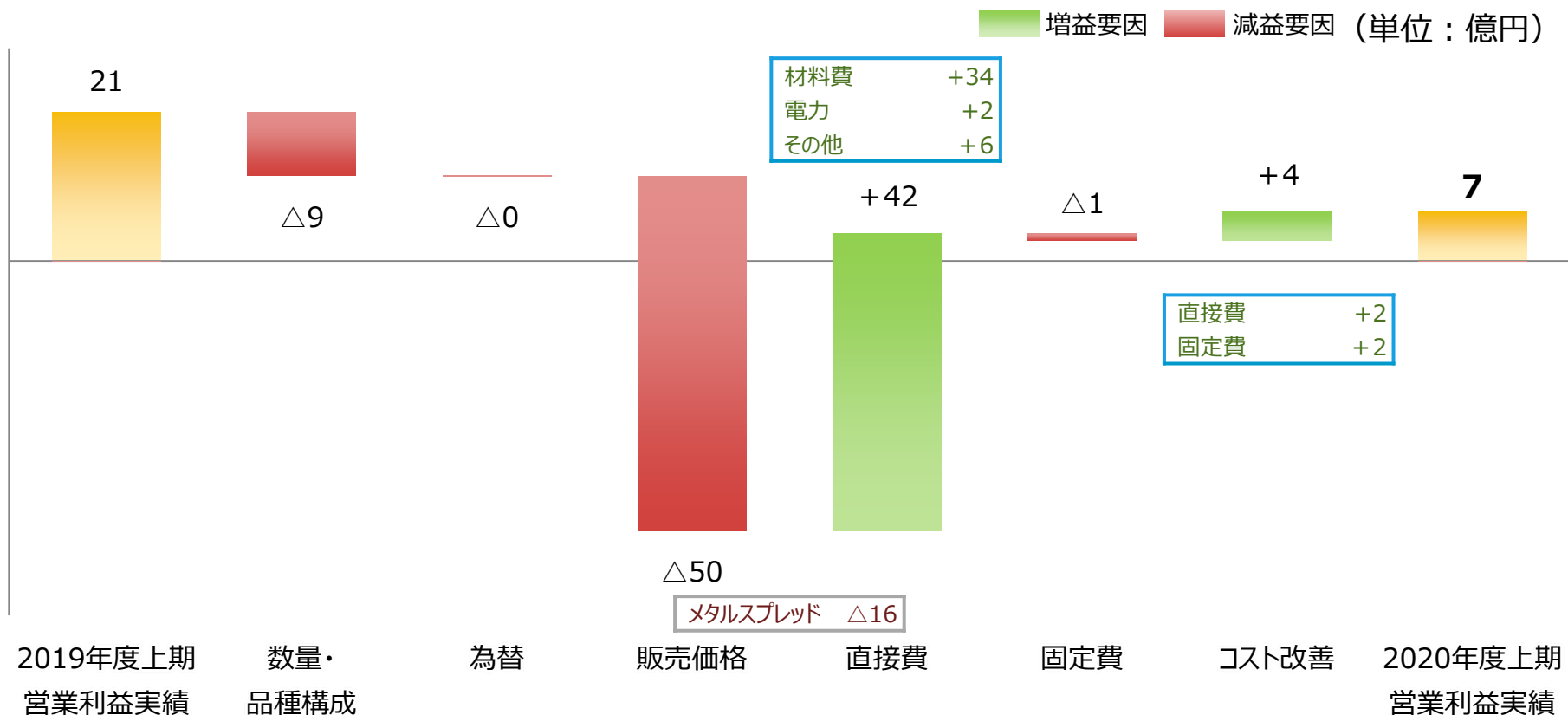
数量減少により自動車・産業機械部品事業が大幅な減収減益。市況悪化による販売価格の低下とメタルスプレッドの縮小により鉄鋼事業も減収減益。

(単位：億円)

	2019年度上期実績		2020年度上期実績		前年同期比	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
鉄 鋼 事 業	370	21	328	7	△42	△14
自 動 車 ・ 産 業 機 械 部 品 事 業	923	20	580	△ 32	△343	△52
発 電 事 業	46	1	36	1	△10	±0
そ の 他	33	6	30	3	△3	△3
消 去	—	△25	—	△ 21	—	+4
合 計	1,372	23	974	△ 42	△398	△65

鉄鋼事業 利益増減要因（前年同期比）

販売価格の軟調によるメタルスプレッドの悪化16億円や社内材、形鋼の販売数量減少 9 億円により、エネルギー・副資材の低下やコスト削減の効果があったものの14億円の減益。

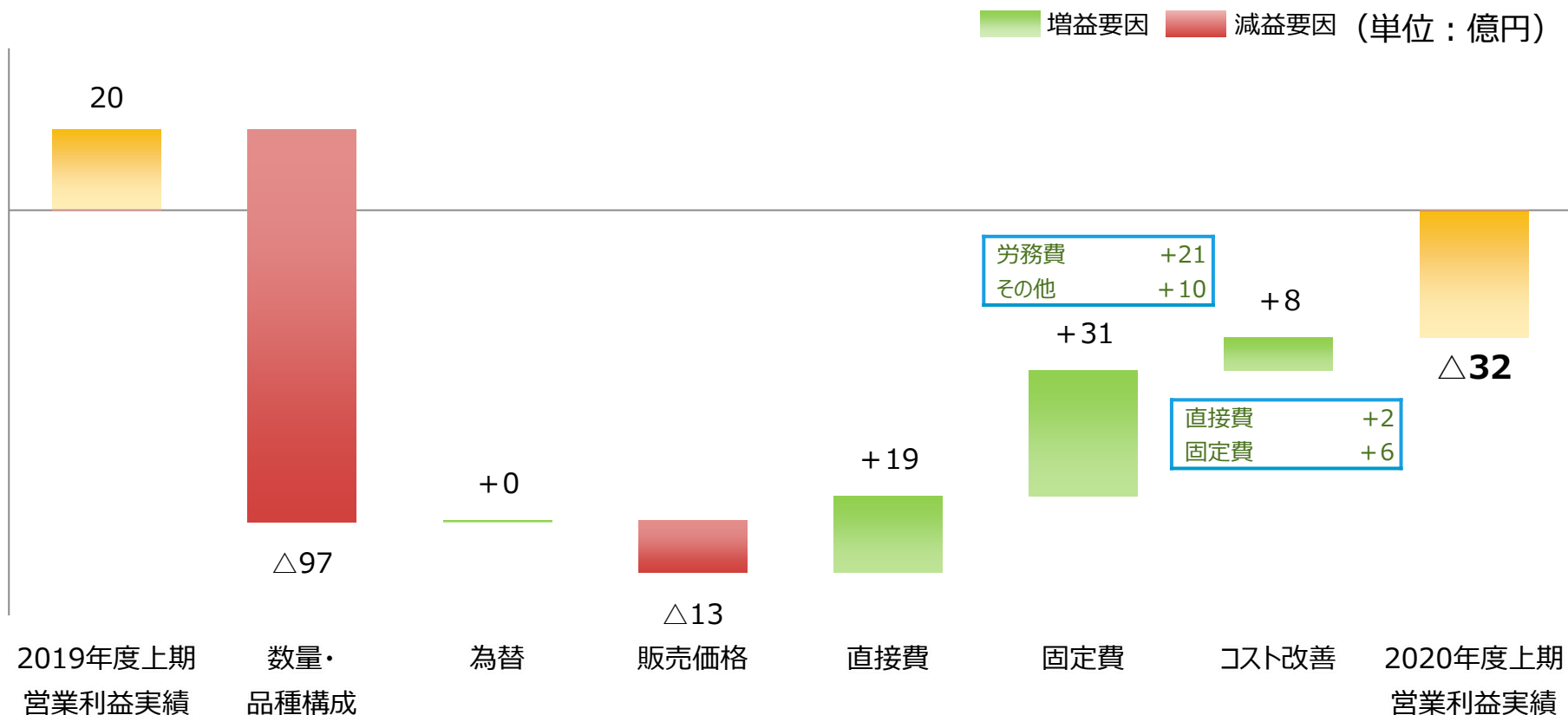


期間為替	2019年度 上期実績	2020年度 上期実績
米ドル	108.7円	106.3円
中国元	15.6円	15.2円

自動車・産業機械部品事業 利益増減要因 (前年同期比)



コロナ影響による顧客の工場操業停止や国内外の需要低迷により、全品種の販売数量が大幅に減少し、コスト削減に取り組んだものの52億円の減益。



期間為替	2019年度 上期実績	2020年度 上期実績
米ドル	108.7円	106.3円
中国元	15.6円	15.2円

2020年度上期 地域別売上高

海外景気の減速に伴い、海外売上比率が減少。

(単位：億円)

	日 本	アメリカ	中 国	そ の 他	合 計
鉄 鋼 事 業	297 (90.7%)	5 (1.4%)	0 (0.0%)	26 (7.9%)	328 (100.0%)
自 動 車 ・ 産 業 機 械 部 品 事 業	370 (63.8%)	77 (13.3%)	53 (9.2%)	80 (13.7%)	580 (100.0%)
発 電 事 業	36 (100.0%)	— —	— —	— —	36 (100.0%)
そ の 他	29 (98.4%)	0 (0.1%)	0 (0.1%)	1 (1.4%)	30 (100.0%)
合 計	732 (75.2%)	82 (8.4%)	54 (5.5%)	106 (10.9%)	974 (100.0%)
海 外 比 率	24.8%	(自動車・産業機械部品事業 海外比率 36.2%)			

〈参考〉2019年度上期実績

合 計	962 (70.2%)	168 (12.2%)	72 (5.2%)	170 (12.4%)	1,372 (100.0%)
海 外 比 率	29.8%	(自動車・産業機械部品事業 海外比率 41.0%)			

2020年度第2四半期決算（予想対比）



鉄鋼事業の販売価格の低下等により減収となるも、全社的な固定費の圧縮に努め増益。

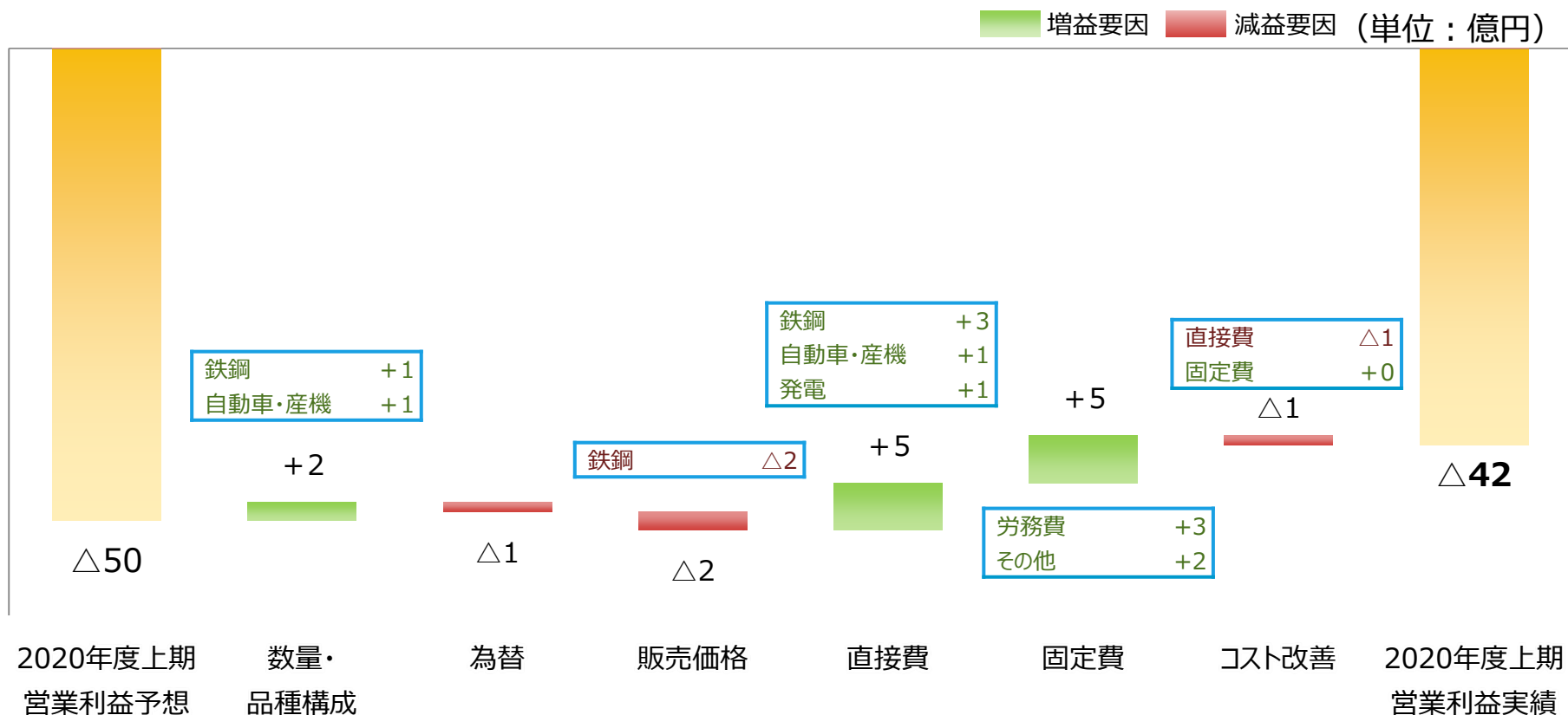
（単位：億円）

	2020年度上期予想	2020年度上期実績	当初予想対比	
			増 減	増減率
売 上 高	1,050	974	△76	△7.2%
営 業 利 益 （営業利益率）	△50 （△4.8%）	△42 （△4.3%）	+ 8 （+0.5 ^{ポイント} ）	－ （－）
経 常 利 益	△50	△39	+ 11	－
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△50	△42	+ 8	－
1 株 当 た り 配 当 （ 円 ）	未定	0	－	－

2020/8/4公表

営業利益増減要因（予想対比）

販売数量が想定どおりに回復する中で、固定費をはじめとしたコスト削減が進み 8 億円の増益。



期間為替	2020年度 上期予想	2020年度 上期実績
米ドル	106.2円	106.3円
中国元	15.1円	15.2円



2020年度（2021年3月期） 通期業績予想

2020年度通期業績予想（前期比）



新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、通期では25億円の営業損失の見通し。自動車用ホイール、建設機械用足回り部品及び鋼材の販売数量が徐々に回復する中、コスト削減を進め損失を圧縮。1株当たりの期末配当は20円を予定。

（単位：億円）

	2019年度 通期実績	2020年度 通期予想	（上期実績）	（下期予想）	前 期 比	
					増 減	増減率
売 上 高	2,633	2,170	974	1,196	△463	△17.6%
営 業 利 益 （営業利益率）	29 (1.1%)	△ 25 (△1.2%)	△42 (△4.3%)	17 (1.4%)	△54 (△2.3%)	－ (－)
経 常 利 益	36	△ 15	△39	24	△51	－
親会社株主に帰属 する当期純利益	△45	△ 25	△42	17	+ 20	－
1 株 当 た り 配 当 （ 円 ）	40	20	0	20	△20	－

2020/11/5公表

2020年度通期業績予想（上下期対比）



自動車用ホイール、建設機械用足回り部品及び鋼材の販売数量が徐々に回復し、下期の営業利益は59億円増益の17億円を見込む。1株当たりの期末配当は20円を予定。

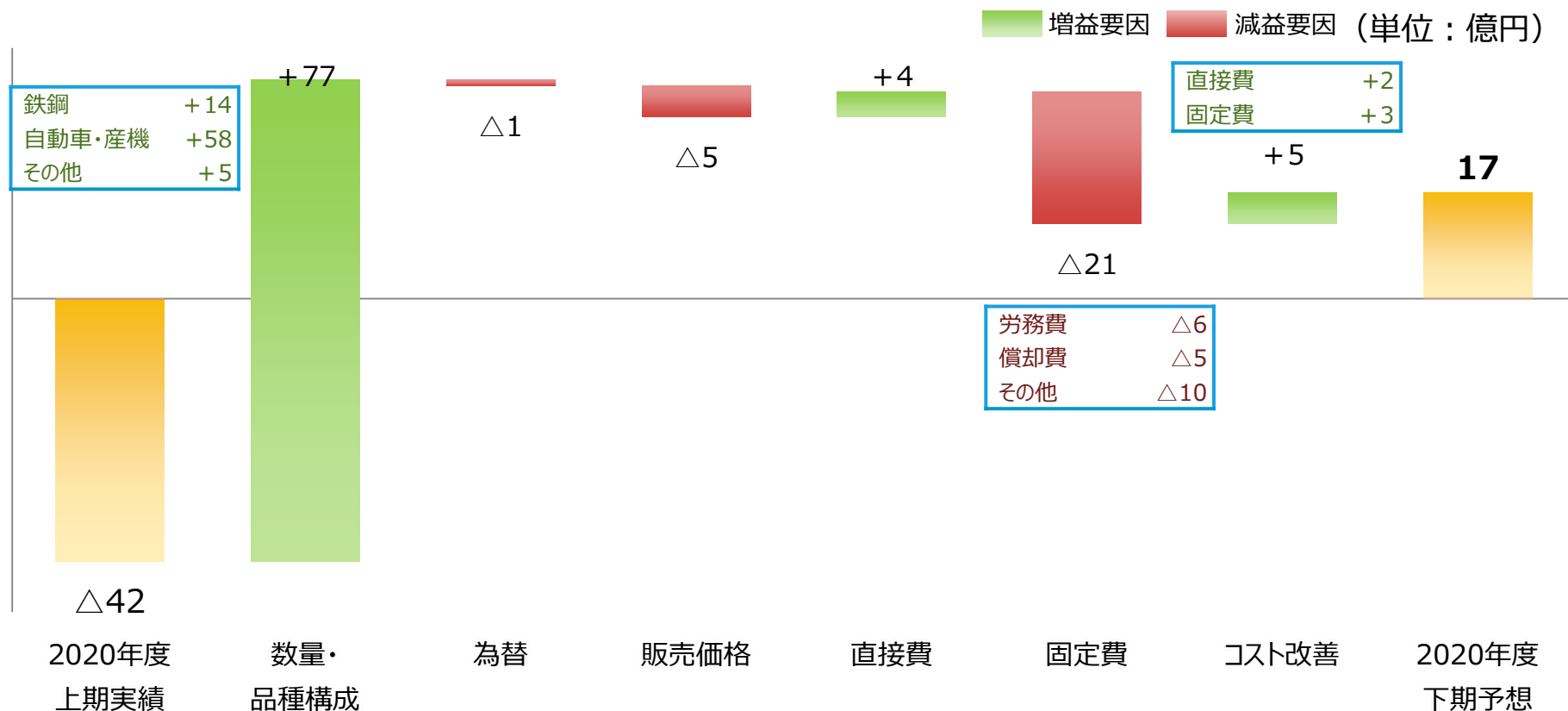
（単位：億円）

	2019年度 通期実績	2020年度 通期予想	(上期実績)	(下期予想)	上期対比	
					増 減	増減率
売 上 高	2,633	2,170	974	1,196	+ 222	+ 22.7%
営 業 利 益 (営業利益率)	29 (1.1%)	△25 (△1.2%)	△42 (△4.3%)	17 (1.4%)	+ 59 (5.7%)	－ (－)
経 常 利 益	36	△15	△39	24	+ 63	－
親会社株主に帰属 する当期純利益	△45	△25	△42	17	+ 59	－
1 株 当 た り 配 当 (円)	40	20	0	20	+ 20	－

2020/11/5公表

下期営業利益増減要因（上期対比）

自動車用ホイール、建設機械用足回り部品及び鋼材の販売数量が回復する中、固定費の増加を抑制し、上期対比で59億円増加し、下期営業利益は17億円の黒字化を見込む。



期間為替	2020年度 上期実績	2020年度 下期予想
米ドル	106.3円	105.0円
中国元	15.2円	15.0円

2020年度 セグメント別業績予想

自動車・産業機械部品事業が数量減少により大幅な減収減益。鉄鋼事業は数量増加が期待されるものの、適正な販売価格の形成が通期でも追いつかず前期比減益。

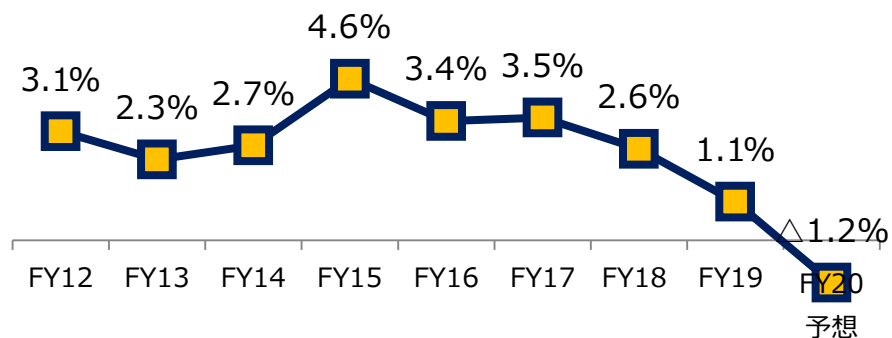
(単位：億円)

	2019年度通期実績		2020年度通期予想		前 期 比	
	売 上 高	営業利益	売 上 高	営業利益	売 上 高	営業利益
鉄 鋼 事 業	734	41	755	33	+21	△8
自 動 車 ・ 産 業 機 械 部 品 事 業	1,740	17	1,280	△22	△460	△39
発 電 事 業	93	9	75	1	△18	△8
そ の 他	66	9	60	6	△6	△3
消 去	—	△47	—	△43	—	+4
合 計	2,633	29	2,170	△25	△463	△54

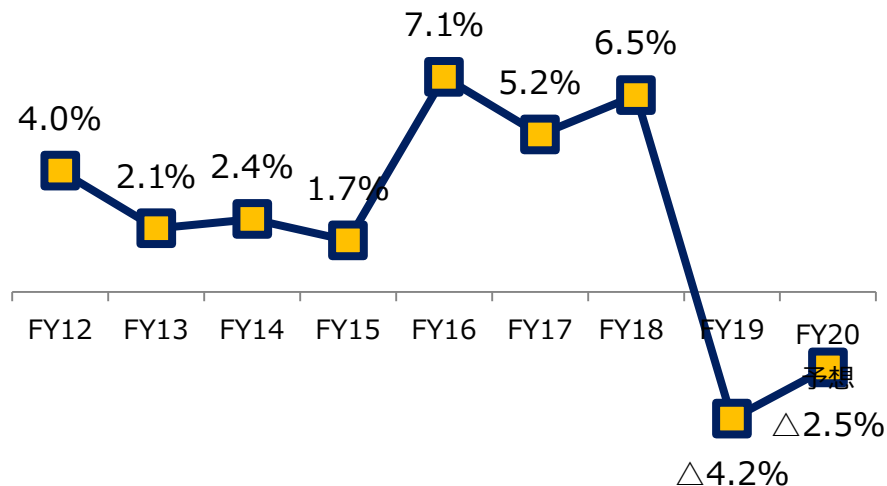
2020/11/5公表

主要指標推移

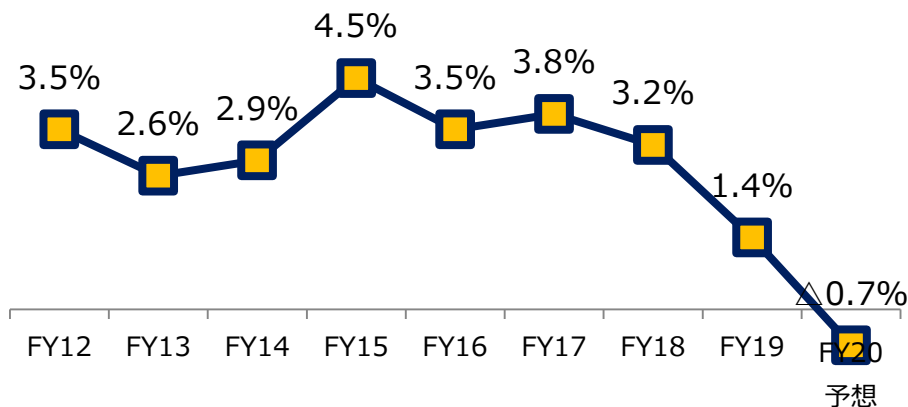
売上高営業利益



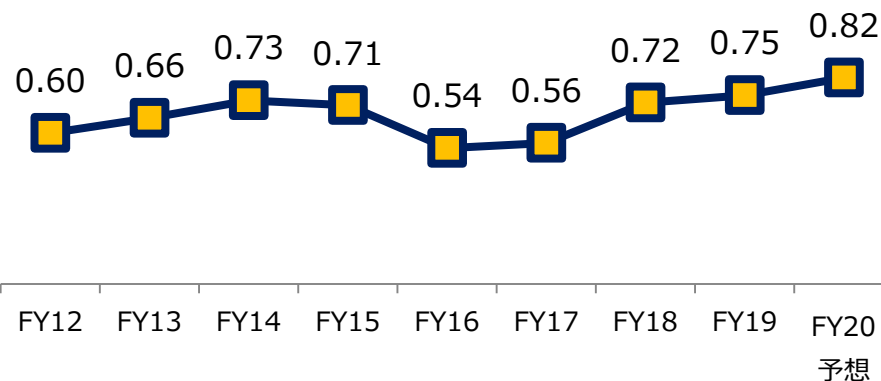
自己資本利益率 (ROE)



総資産事業利益率 (ROA)



D/Eレシオ





トピックス

－ ESGの取り組み －

リサイクル事業を強化

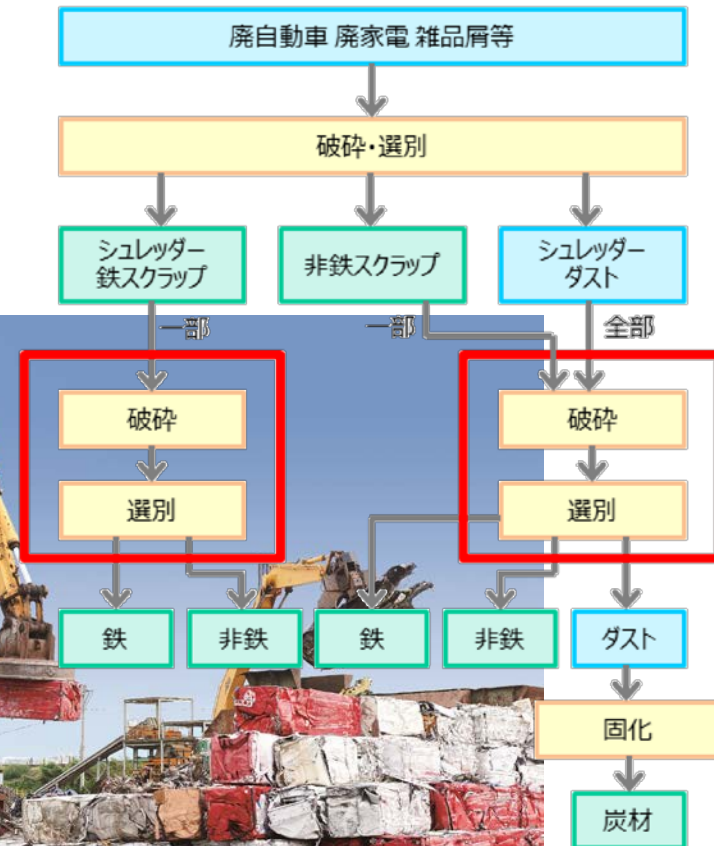
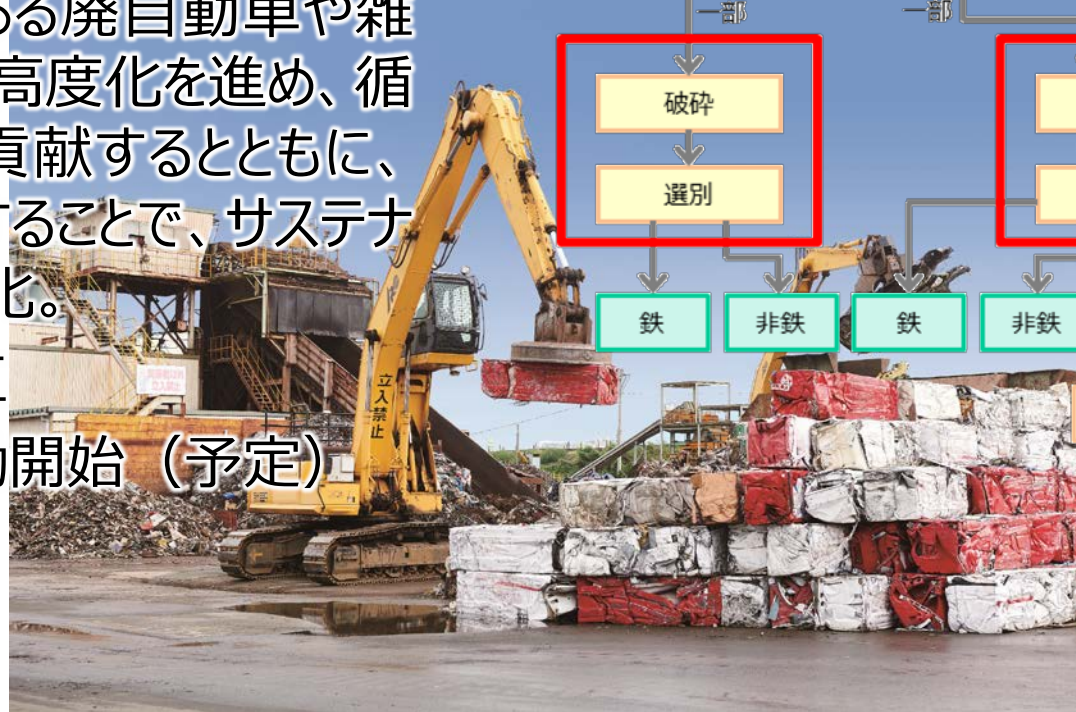
明海リサイクルセンターが金属高度選別設備を新設

事業内容：金属スクラップの回収、破碎・選別、販売

- 高度選別設備の新設により、より高品位な鉄スクラップ、非鉄金属を増産。
- 貴重な国内資源である廃自動車や雑品屑等のリサイクルの高度化を進め、循環型社会の実現に貢献するとともに、経済的価値を創出することで、持続可能な経営基盤を強化。

2020年10月着工

2021年10月稼働開始（予定）



「世界No.1のスチールホイール工場」を目指して

米国のホイール生産拠点を刷新

- トピーアメリカ・ケンタッキー工場の新リム・組立ラインおよび塗装ラインが10月より稼働開始。
- 米国におけるスチールホイールの供給体制を強化。
- 最新鋭化して生産能力を向上。省エネ・省力設備やIoTを活用した予知保全システム等を導入することで、地球にやさしく、働く人が高いパフォーマンスを発揮できる工場に生まれ変わる。



「エコリーフ」環境ラベルを取得

エコリーフ

ライフサイクルアセスメント（LCA）手法を用いて資源採取から製造、物流、使用、廃棄、リサイクルまでの製品のライフサイクル全体の環境情報を定量的に開示する「環境製品宣言（EPD）」認証制度の一つ。

認証製品

H形鋼

山形鋼

溝形鋼

フォークリフト用マスト材

異形棒鋼（直棒）

異形棒鋼（TACoil）



健康経営宣言

トピー工業は、社員が「こころ」も「からだ」も健やかでいることで、職場が笑顔と活気にあふれ、能力を最大限に発揮できると考えています。社員とともに会社がさらに活性化していくために、健康づくりや職場環境づくりに全力で取り組むことを宣言いたします。

- 3つの「整える」を取り組み方針に掲げ、今後順次取り組みを充実（6月より開始）。

からだ

- ・保健指導
- ・食習慣
- ・運動習慣
- ・禁煙



こころ

- ・ストレスチェック
- ・過重労働防止
- ・ハラスメント教育
- ・悩み相談



ワークライフ・バランス

- ・労働効率化
- ・休暇取得促進
- ・子育て支援
- ・介護支援
- ・余暇活動支援



統合報告書「TOPY Report 2020」を発行

鉄のリサイクルから、製鋼、鉄鋼製品の加工までの一貫生産体制を軸とするトピー工業のビジネスモデル及び価値創造ストーリーについて、皆様に分かりやすくご説明するとともに、ESGに関する取り組みを整理。

第2期 成長戦略

トップメッセージ



トピー工業株式会社
代表取締役会長
高橋信彦

トピー工業グループのビジネスモデル

One-piece Cycleで競争力あるバリューチェーンを構築し、高品質の製品をグローバルに供給
—基幹事業である鉄鋼事業、自動車・産業機械部品事業のバリューチェーン—

一貫生産体制 製品開発力、モノづくりの源泉
7カ国 17拠点 加工部門のグローバル展開

鉄鋼事業 自動車・産業機械部品事業

調達 当社グループ内外の安定したサプライチェーン

開発・設計 各工程の技術力とシナジーを生かした製品開発・設計力

生産 環境に配慮し、効率的・安定的に生産できる能力

供給・販売 多品種・小ロット対応力と加工部門のグローバル供給体制

外販路優先

鉄スクラップ

お客様 社会

対価

キャッシュ

株主還元

成長投資

One-piece Cycle

TOPY Report 2020

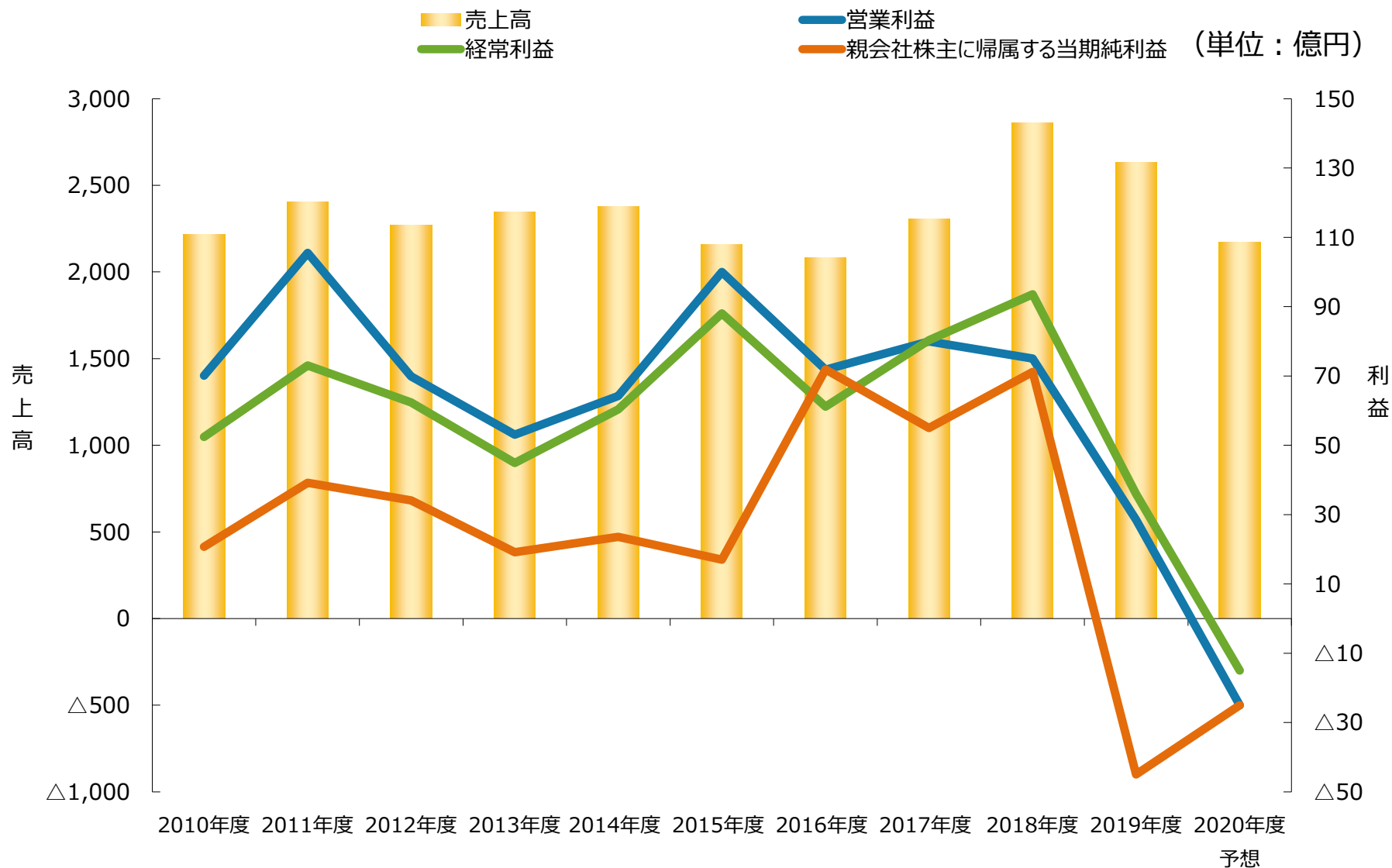
TOPY

『TOPY Report 2020』は、当社ウェブサイト「CSR・環境への取り組み > TOPY Report」からご覧いただけます。



参考資料

業績推移



連結貸借対照表



(単位：億円)

資産の部	2019 年度末	2020年度 上期末	増 減	負債の部	2019 年度末	2020年度 上期末	増 減
現金及び預金	238	232	△6	支払手形及び買掛金 (電子記録債務を含む)	372	330	△42
受取手形及び売掛金	448	395	△53	社債・短期借入金	210	281	+71
棚卸資産	403	380	△23	その他	159	157	△2
その他	62	70	+8	流動負債 計	741	768	+27
流動資産 計	1,151	1,077	△74	社債・長期借入金	558	508	△50
有形固定資産	1,005	1,003	△2	その他	210	212	+2
無形固定資産	46	43	△3	固定負債 計	768	720	△48
投資その他資産	345	364	+19	負債 計	1,509	1,488	△21
固定資産 計	1,396	1,410	+14	株主資本	993	951	△42
資産 計	2,547	2,487	△60	その他包括利益	34	38	+4
				被支配株主持分	11	10	△1
				純資産 計	1,038	999	△39
				負債純資産 合計	2,547	2,487	△60

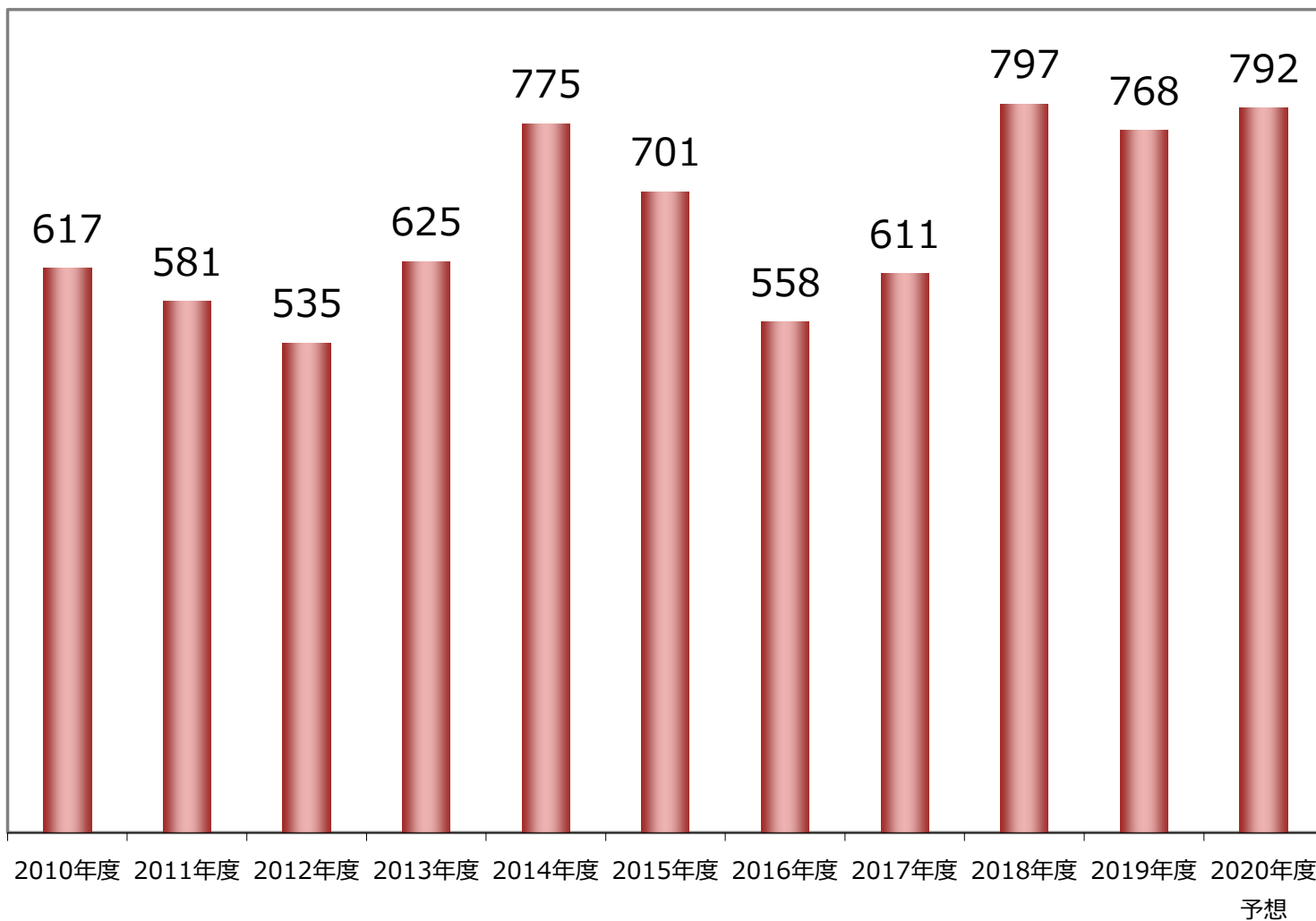
キャッシュフロー計算書

(単位：億円)

	2019年度上期	2020年度上期	増 減
経常利益	16	△39	△55
棚卸資産増減額	2	20	+18
減価償却費	58	61	+3
その他	△49	△4	+45
営業活動によるキャッシュフロー	27	38	+11
設備投資	△84	△60	+24
その他	△5	△3	+2
投資活動によるキャッシュフロー	△89	△63	+26
フリーキャッシュフロー	△62	△25	+37
配当金支払	△16	△0	+16
借入金増減他	6	19	+13
財務活動によるキャッシュフロー	△10	19	+29
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△3	±0
現金及び現金同等物に係る期末残高	221	222	+1

有利子負債

(単位：億円)





TOPY INDUSTRIES, LIMITED

One-piece Cycle

流れるように美しい、技術と品質。

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、資料作成時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害につきましても、当社は一切責任を負いません。